

給食施設状況調査票

様式1

令和 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日

1.施設名

〇〇事業所（社員食堂）

2.所在地

〒730-0000
広島市 中 区 国泰寺町〇丁目〇-〇

3.電話・FAX

電話: 082-***-*** FAX: 082-***-***

4.Eメールアドレス

〇〇@□□.jp

5.種別

1 学校 2 病院 3 介護老人保健施設 4 介護医療院 5 老人福祉施設
6 児童福祉施設 7 社会福祉施設 8 矯正施設 9 寄宿舍
⑩事業所 11 一般給食センター 12 その他()

6.施設側責任者

設置者氏名・役職名

理事長 中区 次郎
施設管理者氏名・役職名

総務部長 中区 三郎
給食担当者氏名(フリガナ)・所属・役職名
総務課長 中区 花子 (ナカク ハナコ)
(資格: 管理栄養士 栄養士 調理師 その他())

7.運営方式

委託先
1 直営 ②委託 3 その他()
委託先名称
中区給食サービス会社
所在地・電話番号
広島市中区大手町〇丁目〇-〇
082-0000-0000
代表者氏名・役職名
課長 中区 太郎
施設担当責任者氏名・役職名
栄養士 中区 はな
委託内容
(献立作成)・(発注)・(調理)・(配膳)
(食器洗浄)・栄養指導・その他()

8.献立作成者氏名

中区 みどり
(資格(管理栄養士) 栄養士 調理師 その他())

9.定員数

(150)名 ()床

10.食数

朝食 昼食 夕食 計 間食・夜食
120 120
*その他
デイサービス ()
デイナイトケア ()
職員食(事業所を除く)()
その他()

11.分類

①特定給食施設
(1回100食以上または1日250食以上の食事を提供する施設)
2 その他の給食施設
(1回50食以上100食未満または1日100食以上250食未満の食事を提供する施設)

12.給食従事者数

管理栄養士 1
栄 養 士 1
調 理 師 1
調 理 員 2
事務職員等

13.栄養管理等に関する会議

①有 (12 回/年) 2 無
会議の名称 (栄養〇〇会議)
構成員 8 名
内訳(施設長、施設給食責任者、委託管理栄養士、委託栄養士)
会議記録(①有 2 無)

14.目標給与栄養量

①設定している (全体) 個人 2 設定していない
設定の見直し ①有 (1 年ごと) 2 無

15.給与栄養量

①算出している 2 算出していない

16.利用者における肥満とやせに該当する者の割合等

①把握している 2 把握していない
肥満及びやせに該当する者の割合(人数)
< 〇〇 年 〇 月現在 >
肥満 25 % (38 名 / 150 名)
やせ 3 % (5 名 / 150 名)
評価方法(BMI ・肥満度 ・その他())
把握方法(定期健診 ・その他())

17.献立表

①有 (週間) ・月間 ・その他 () 2 無

18.食事提供の工夫

①有 (ヘルシーメニュー ・行食事 ・郷土食 ・選択食)
その他 ()
2 無

19.食事の評価

①有 (残食量 (全体 ・個人) ・喫食量 (全体 ・個人))
(嗜好 ・その他 ())
2 無

20.対象者への健康栄養情報の提供

栄養情報
(献立表配布や掲示 ・給食だより ・ポスター)
リーフレット ・モデル的な料理の組み合わせ提示
栄養成分表示 ①有 2 無
(エネルギー ・たんぱく質 ・脂質 ・食塩相当量)
その他 ()
栄養教育
①有 (集団 ・個別) 2 無

21.保存食

①有 (原材料) ・(調理済み) 2 無

22.検便

検査頻度 1 回 / 年 ・(月)
対応マニュアル ①有 (食中毒 ・災害) ・その他 () 2 無
備蓄 ①有 (3 日分) 2 無

23.健康危機管理対応

①有 (施設名 〇〇施設)
2 無

*調査票記入者氏名・役職名・所属

総務課長 中区 花子

1. 施設名

正式名称を記入

5. 種別

給食届に記入している種別に○をつける

6. 施設側責任者

給食施設の設置者・施設管理者・給食担当責任者を記入
(保健センターからの連絡は「給食担当責任者」に行うため、必ずフリガナを記入)

7. 運営方式

委託の場合は、委託先の名称・所在地・代表者・責任者などを記入

9. 定員数

施設の定員数・従業員数・許可病床数を記入

10. 食数

●間食・夜食は食数の計に含まない
●デイサービス・デイケア・職員の給食についてはその他の欄に記入し、合計数には含まない
(ショートステイは食数に含める)

12. 給食従事者数

●「常勤」は、栄養の指導※1に従事している常勤※2の管理栄養士・栄養士の数を記入

●また、次のいずれかに当てはまる者がいる場合は、()で数を記入
(①管理栄養士又は栄養士以外の職名で採用されているが、資格を有して実際に栄養の指導に従事している者
②他施設と兼務し、当該施設に所定労働時間※3の3/5以上を勤務している者)

※1 栄養の指導 <(公社)日本栄養士会の位置づけ>
「食事の提供(給食)」「栄養指導」「栄養状態の管理(栄養管理)」で構成され、地域連携や食環境の整備などの行為も含まれる
※2 常勤
雇用形態(正規、嘱託、臨時、派遣の別)にかかわらず、1週間の所定労働時間が40時間程度(1日8時間・週5日勤務等)の者
※3 所定労働時間
就業規則等において、通常の労働者が労働契約上労働すべき時間として定められた時間

13. 栄養管理等に関する会議

栄養管理に関する会議の名称を記入し、開催回数、構成するメンバーの人数と職種等を記入

14. 目標給与栄養量

●設定している場合、全体・個人を選んで○をつける
●設定の見直しを定期的に行っている場合は頻度を記入

16. 利用者における肥満とやせに該当する者の割合等

●「5.種別」が「学校・児童福祉施設・寄宿舍・事業所」に該当する施設のみ記入
●人数は、施設利用者(入所者)の人数を記入
●施設利用者(入所者)の、やせ・肥満の割合を記入し、その評価方法と把握方法を記入
●把握時期は前年度の6月～当該年度5月までの1年間における直近の数値を記入

・肥満及びやせの評価方法について

1 成人＝ BMI(Body Mass Index)

$$BMI = \text{体重kg} / (\text{身長m})^2$$

判 定	低体重(やせ)	普 通	肥 満
BMI	18.5未満	18.5以上25.0未満	25.0以上

(日本肥満学会(2000年)による肥満の判定基準)

2 幼児(3歳以上6歳未満)＝幼児身長体重曲線(性別・身長別標準体重)による肥満度

肥満度＝〔実測体重(kg)－身長別標準体重(kg)〕/身長別標準体重(kg)×100(%)

区 分	呼 称	判定
+30%以上	ふとりすぎ	肥 満
+20%以上+30%未満	ややふとりすぎ	
+15%以上+20%未満	ふとりぎみ	
－15%超+15%未満	ふつう	普 通
－20%超－15%以下	やせ	や せ
－20%以下	やせすぎ	

【平成12年乳幼児身体発育調査の結果に基づく身長別標準体重の算出式】

■男児 標準体重＝0.00206×身長²－0.1166×身長＋6.5273

■女児 標準体重＝0.00249×身長²－0.1858×身長＋9.0360

【平成22年乳幼児身体発育調査の結果に基づく身長別標準体重の算出式】

■男児 標準体重＝0.002226×身長²－0.1471×身長＋7.8033

■女児 標準体重＝0.002091×身長²－0.1139×身長＋5.7453

幼児身長体重曲線(性別・身長別標準体重)による肥満度の評価方法については、平成12年乳幼児身体発育調査の結果に基づき作成されています。

集団の長期的評価や医学的な判定においては、関係学会の見解等に基づき、平成12年乳幼児身体発育調査の結果に基づく値を用い、母子健康手帳においては、直近の調査にもとづく乳幼児の現況を示すものであることから、平成22年乳幼児身体発育調査の結果に基づく値が用いられています。

これらを踏まえ、本評価においては、集団の長期的評価を行う観点から、平成12年乳幼児身体発育調査の結果に基づき作成されたものを用いることとしますが、保護者が使用している母子健康手帳に掲載されている幼児身長体重曲線と同様のものを用いて評価をしたい場合には、平成22年乳幼児身体発育調査の結果に基づき作成されたものを用いても差し支えないこととします。

3 児童・生徒

学校保健統計調査方式(性別・年齢別・身長別標準体重)による肥満度判定方法

肥満度(過体重度)

＝〔実測体重(kg)－身長別標準体重(kg)〕/身長別標準体重(kg)×100(%)

判 定	やせ傾向		普 通	肥満傾向			
	－20%以下			20%以上			
	高度やせ	軽度やせ		軽度肥満	中等度肥満	高度肥満	
肥満度	－30%以下	－30%超	－20%超～	20%以上	30%以上	50%以上	
		－20%以下	+20%未満	30%未満	50%未満		

23. 健康危機管理対応

「非常時における他施設との連携の有無」は、自施設での給食提供が不可となった場合の連携先の有無を記入